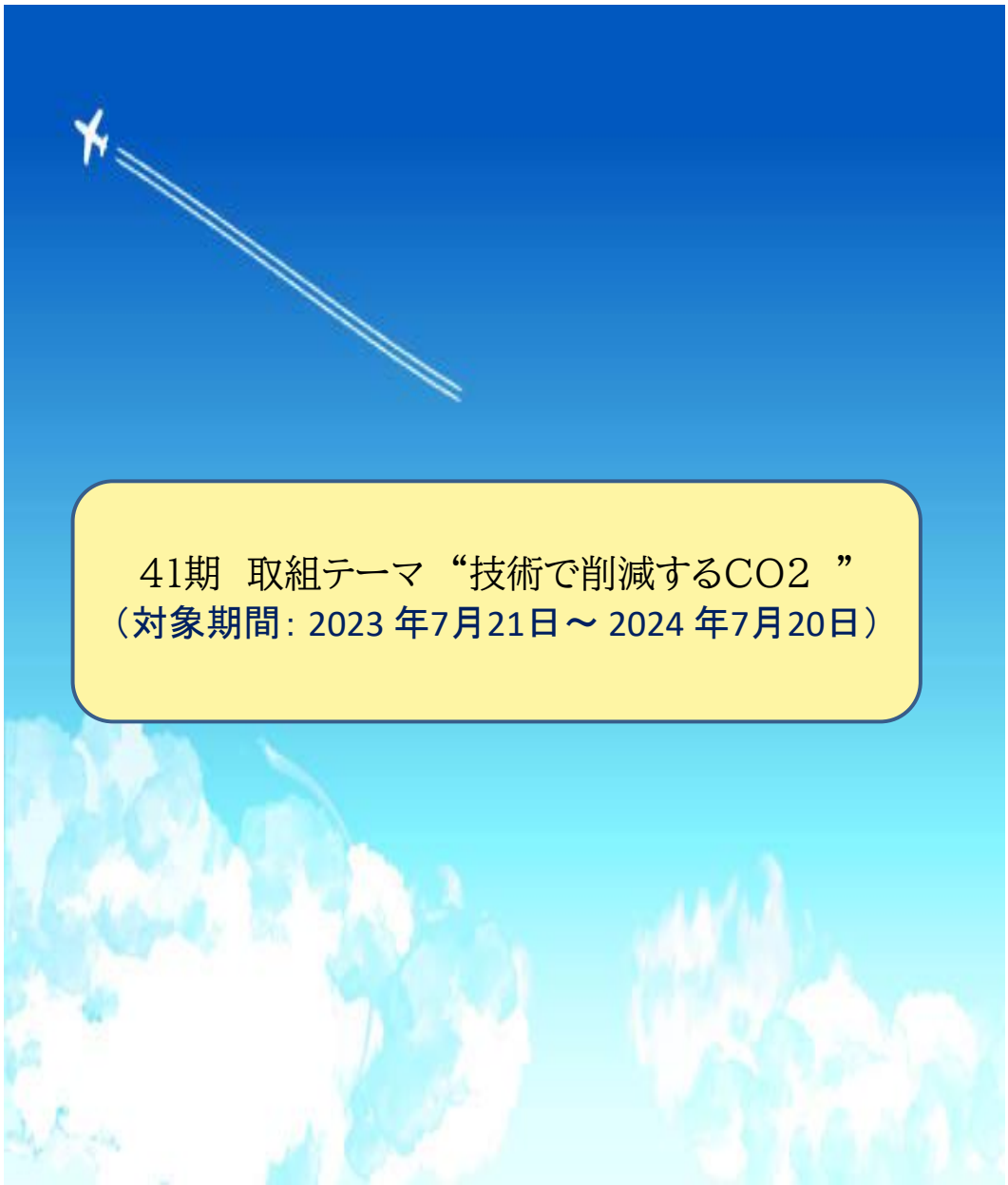
株式会社ミューパック・オザキ

2023 年度　SDGs活動レポート



41期　取組テーマ “技術で削減するCO2 ”
（対象期間: 2023 年7月21日～ 2024 年7月20日）

作成日：　2024年9月1日

目　　次

項　　目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
これまでの環境活動の紹介	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	10

八尾市へスポーツ貢献
（BSボール寄付を継続中）

環境負荷を少なく使い捨て
されない製品をご提案します。

3 すべての人に健康と福祉を

AND YOU OSAKA EVESSA SDGs ACTION
私たちは OSAKA EVESSA SDGs ACTION AND YOU プロジェクトパートナーです

13 気候変動に具体的な対策を

□ごあいさつ

【経営理念】
ミューパック・オザキは「真心」「信頼」「挑戦」を経営信条と致します。
ミューパック・オザキは“真心をもってお客様に接し、お客様の喜びを私たちの喜びとし、信頼される企業として社会に貢献”致します。
ミューパック・オザキは“自らの可能性に挑戦し未来へ向けて限りなく発展進化していくことによって、生きがいと夢の実現”を目指します。

環境経営方針

＜環境経営理念＞

1980年の創業以来、弊社は真心をもってお客様に接し、お客様の喜びを私たちの喜びとし、信頼される企業として社会に貢献して参りました。
本業である樹脂製袋の生産を通じて、自らの可能性に挑戦し未来へ向けて限りなく発展進化していくことによって生きがいと夢の実現を目指し、いち地球人として地球温暖化問題への関心を高め、地域の環境活動に自主的且つ積極的に取り組みます。
安全で安心していただける商品を「効率よく」、「無駄なく」、「タイムリー」にお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的改善に取り組んでまいります。

＜環境保全への行動指針＞

１．環境関連法規制を遵守します。
　　自社商品製造を通して環境保全に貢献します。
２．省エネルギー活動へ真剣に向合い二酸化炭素排出量の削減に従業員全員で取組みます。

３．廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制に努めます。

４．適正な利用により水使用量の削減に努めます。

５．化学物質の適正管理に努めます。

６．環境保全に配慮した安心で安全な包装商品を効率よくお客様にお届けします。

７．持続可能な企業である為、SDGs活動の主旨を理解し17の目標に真摯に取組みます。

８．製造業としての社会的責任を自覚し関連業者と地域の環境保全活動に積極的に取組みます。

制定日： 2018年9月13日
改定日： 2024年7月10日

代表取締役会長　尾崎　育子

□組織の概要

更新日： 2023年8月10日

（1）名称及び代表者名
株式会社ミューパック･オザキ
代表取締役社長　髙城　雅典

（2）所在地
本社・工場　　大阪府八尾市南木の本5丁目2番地
第2工場　　大阪府八尾市南木の本１丁目89-2

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　　伴ノ内工場長　　TEL：072-991-1505
事務局　　竹村チーフマネージャー　　TEL：072-991-1505

（4）事業内容
樹脂フイルムの製袋に係わる企画・開発及び製造販売

（5）事業の規模
売上高　　500 百万

	本社・工場	第2工場	合計
従業員　名	29 名	12 名	41 名
延べ床面積　㎡	529 ㎡	328 ㎡	857 ㎡

（6）事業年度 41期　2023年　7 月　21 日 ～　7 月　20 日

□認証･登録の対象組織･活動

登録組織名：　株式会社ミューパック・オザキ
対象事業所：　本社・工場
第2工場

対象外：なし
活動：　樹脂フイルムの製袋に係わる企画・開発及び製造販売

□事業や製品の紹介

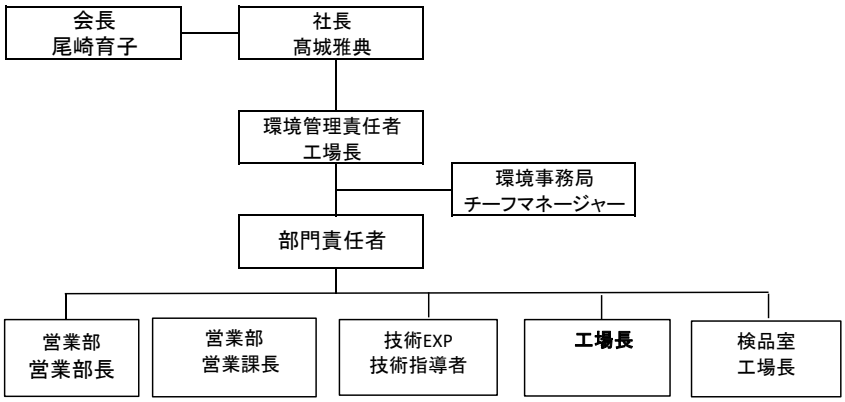
【新経営体制への進化】
1980年創業、1983年法人改組から41期目を迎えるにあたり社長職を髙城雅典新社長へ承継し、ひとつの節目といたしました。
弊社は現在、樹脂フイルムの製袋機14基を有し全国のお取引先へ向けて製袋事業を展開させて頂いております。
樹脂パッケージの製袋に係わる全てを企画・開発する事でお取引様、エンドユーザー様のご要望に応じた高品質で使い易い商品を製造し、お約束した納期での提供を心掛け、おひとつおひとつを「誠心誠意」心を込めて市場の皆様へお届けするように取り組んでおり創業時からの経営理念を承継しております。
各メーカー様の環境に配慮した製品やエシカル消費開拓への取組により当社への企画開発への要請も幅広くなり、高い技術と開発力に加え環境リテラシーを有した企業を求めており、選択される企業への進化に向かい一つ一つ確実に取組んでおります。
【オリジナル製品の進化】
当社開発品である、ミュースライダー、センタースライダーポーチを事業主軸として付加価値の高い商品開発にこれからも挑み市場への積極的展開へ注力して参ります。
【環境経営取組の紹介】
40期より、SDGs活動を中心に環境問題へ取組んでおります。
又、健康経営法人としても全社員へ気配りを怠らず、一丸となり新しい企業価値を創造し共有して参ります。

元気ですかー！！　みんなでゼロカーボンへ向かってっ！　1･2･さんッダァ～ッ！

代表取締役社長
髙城　雅典

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

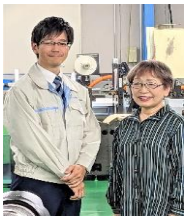
更新日： 2023年8月10日



	役割・責任・権限
代表者（会長） 代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、部門責任者の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門責任者	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
部門責任者	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

新体制で取組みます。

高城雅典社長



尾崎育子会長

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2021年　39期	2022年　40期	2023年　41期	前年比削減量
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	156,237	104,371	102,855	1,516
廃棄物排出量					杉の木
一般廃棄物排出量	kg	168	139	80	172 本分
産業廃棄物排出量	kg	62,306	69,475	76,129	削減しました。
総排水量	m^3	505	383	315	
CO2排出係数(調整後)		0.493	0..408	0.408	kg-CO2/kWh
電力会社		ハルエネ	エネット	エネット	
採用年度		2021年度	2021度	2021年度	

※　杉の木の換算係数は、林野庁HPの吸収量(8.8kg/本)を採用

□環境経営目標及びその実績

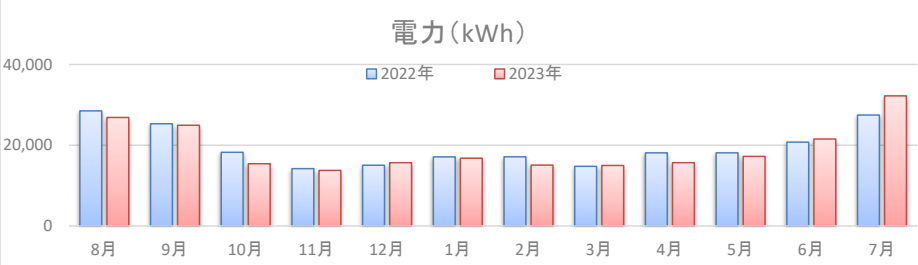
項　目 ＼ 年　度		2022年 (基準値)	2023年 (目標)	2023年 (実績)	評価	2024年 (目標)	2025年 (目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-C02	94,278	93,335	93,858	×	92,393	92,393
	基準年度比		99%	99.6%		98%	98%
売上原単位	kg-C02/千	0.190	0.188	0.211	×	0.186	0.186
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-C02	10,093	9,892	8,997	○	9,791	9,791
	基準年度比		98%	89.1%		97%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	**kg-CO2**	104,371	103,227	102,855	○	102,183	102,183
廃棄プラの削減	kg	78,400	77,616	76,129	○	76,832	76,048
	基準年度比		99%	97.1%		0.98	0.97
水道水の削減	m^3	292	283	315	×	277	277
	基準年度比		97%	107.9%		95%	95%
化学物質の適正管理	行動目標(次項による)						
グリーン購入の推進	行動目標(次項による)						
環境に配慮した生産活動商品創り	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：〇達成　×未達成

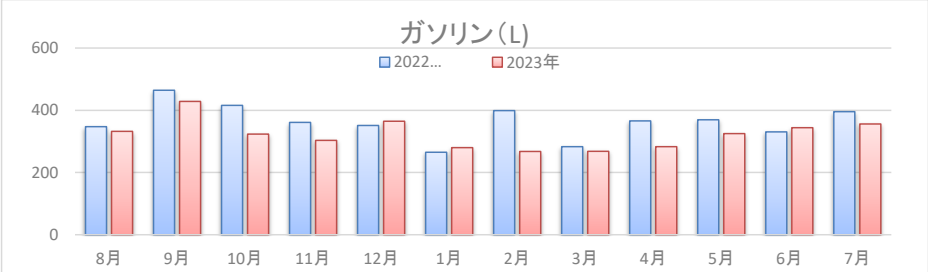
活動：◎よくできた　〇まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	電力消費は受注計画に沿って人員管理、設備稼働スケジュールも詳細に製造部と打ち合わせる事で目標値は未達ながら前年比99.6%と僅かではあるが前年比では軽減できた。来期については受注拡大(前年比115%)を目指し本年同様に当日・週間業務の打合せを継続することで人員態勢、時間管理も効率的配置することで前年比98%を目指す。
【全社】生産効率向上への具体的取組み。		
【工場】	〇	
・工場内“見える化”→作業状況の把握による稼働効率	〇	
・空調温度の場内均一化・終業時・不要時の管理	〇	
・電力使用量の工場内周知のため推移表掲示。	〇	



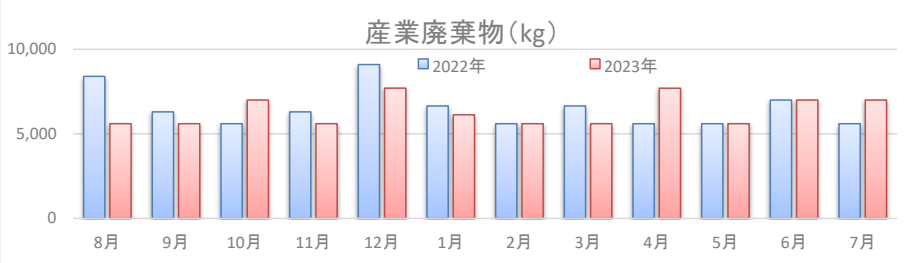
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2022年	28,497	25,308	18,230	14,194	15,033	17,102	17,122	14,758	18,107	18,107	20,750	27,460
2023年	26,865	24,933	15,401	13,755	15,659	16,774	15,062	14,974	15,669	17,222	21,520	32,211

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	〇	（総括） ・効率的な営業訪問を各自実行でき消費量減少。
・計画的な営業訪問により不要走行を抑	〇	
・車両月報作成により走行値を確認、削減意識を高める	〇	



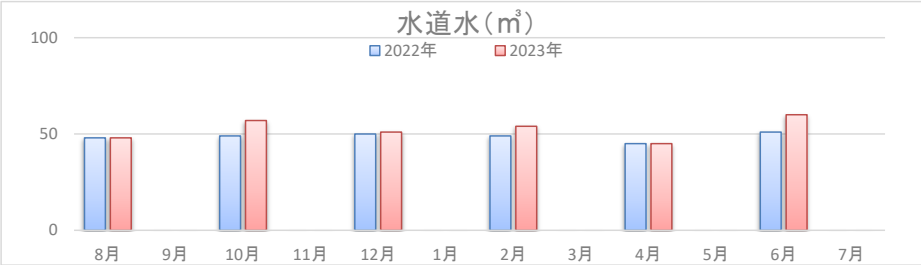
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2022	347	464	416	361	351	265	399	283	366	369	331	396
2023年	332	428	323	303	365	280	268	268	283	325	344	356

廃棄プラの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	(総括) ・期初の場内整理の為不要フイルムの廃棄により大幅な減少は出来なかったが年間目標(前年比99%)は達成する。 ・ロス早期発見、報告を実施、組織ルールとして定着化する事で前年廃棄量より改善している。
【作業ミスによる廃棄量の徹底的な削減	○	
・営業部、工場との情報共有・工程の事	○	
・製造優先順位の効率的構成。	○	
・各部門での削減管理	○	
・（その他）廃棄回収の準備	○	



	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2022年	8,400	6,300	5,600	6,300	9,100	6,650	5,600	6,650	5,600	5,600	7,000	5,600
2023年	5,600	5,600	7,000	5,600	7,704	6,125	5,600	5,600	7,700	5,600	7,000	7,000

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	・止栓、節水の喚起。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	



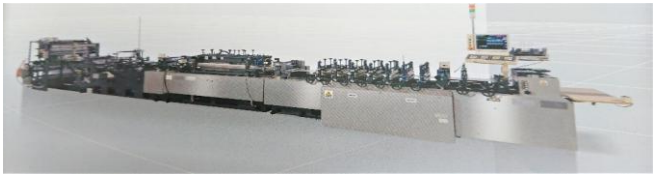
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2022年	48	0	49	0	50	0	49	0	45	0	51	0
2023年	48	0	57	0	51	0	54	0	45	0	60	0

化学物質の抑制・削減活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・労安法改正対応⇒リスクアセスメントの実施	○	・化学物質管理者研修、保護具管理講習を工場長が受講し以後適宜に社員教育へ展開する。
・管理物質管理者の選任　(研修受講5/23-24)	○	
・保護具着用管理（研修受講7/5)	○	
・従業員教育	○	

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・購買担当者による環境配慮型商品の購入	○	コピー用紙およびトナーについては環境配慮製品の購入継続
・環境配慮型製品の推奨　(再生コピー紙)	○	

環境に配慮した生産活動商品創り	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・クールチョイスへの賛同	○	・大阪市主催の紙加工技術展へ参加し環境配慮型製袋の動向、顧客ニーズを確認する事で自社技術へ展開できた。
・環境に優しい材質の使用	○	
・異物混入防止・検品精度UPへの取組	○	
・同業他社の技術共有、展示会参加により環境配慮商品へ	○	

取組紹介欄



CSポーチ

環境に配慮したリユース製品であるCSポーチやクラフトバックを製造する製袋機　全長16m～(トタニ社製)

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ）
騒音規制法	空気圧縮機
振動規制法	空気圧縮機
労働安全衛生法	化学物質管理者講習の受講。化学物質管理者の選任。
消防法	消火器・非常ベル・誘導灯の点検
フロン排出抑制法	業務用空調機・チラー・空気圧縮機用エアドライヤー
八尾市条例	特定工場許可
顧客要求事項	工場見学

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。

□緊急事態への備え

・事業継続強化計画(BCP)の認定を受ける。(2022.3.4～)

□なにわエコ会議“エコフェス・ポピュラー賞”受賞

・環境経営レポートが高評価を受ける。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定:　地震の発生	
■実施日：　2023.11.28　実施	■実施場所 本社事務所・本社工場・第2工場
■参加者：　出勤者全員参加　38名 八尾消防署からの応援有	
■実施内容：　□通報訓練　□消火訓練　☑避難訓練 ・地震災害を想定した避難訓練の実施 ・日常使用している工場内避難路の確認	
■評価：A	手順書の変更の必要性□ あり　☑ なし
・本社事務所から本社前駐車場まで避難時間-30秒。（想定1分） ・本社工場から本社前駐車場まで避難時間-55秒。（想定　1分30秒） ・第2工場から本社駐車場への避難時間-1分30秒。（想定　2分）	
■実施状況の様子 	

□健康経営への取組

2024.3.11　健康経営優良法人(2024年度)として認定を受ける。健康飲料の社内冷蔵庫での提供実施。

健康ジュース

朝礼ストレッチ

□地域社会の課題解決に向けて

・毎週初に全社員による社内及び周辺エリアの清掃活動を実施、継続している。
・八尾をきれいにする運動へに参加し清掃活動を継続している。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年9月1日

今期については弊社が使用するプラスチック原料の長期的な価格高騰や円安による景気停滞により受注も減少致しました。厳しい状況下でもEA21活動に加え健康優良法人としての取組もひとつひとつ日常業務へ取組みながら生産性の向上へ繋がる様に引き続き最善の指導を継続して参ります。今後についてはSDGs活動目標を事業フレームとすることで従業員への理解を進めて事業活動の中で取り組んで参ります。

環境経営方針	■	変更なし	□	変更あり
環境経営目標・計画	■	変更なし	□	変更あり 実績を踏まえて見直す
実施体制	■	変更なし	□	変更あり

□編集後記

昨年よりSDGS活動をフレームとして環境改善へ取組んでおり考え方や取組方法に全員が共有できる部分が出来たように感じます。健康経営優良法人への取組も含め全員の力を結集できる組織体制を全員参加で考え、全員参加で継続できる仕組み創りに取組みたい。

事務局:竹村